



おおこうちだより VOL.3

《ご飯が食べれない、そんな日が続いたら…?》

糖尿病編

発熱、嘔吐、下痢、食欲不振により通常の食事が摂れない場合をシックデイと呼びます。
つまり、糖尿病以外の病気にかかってしまった場合のことで、
シックデイの時は食べなくても血糖値が上昇しやすい状態になっています。
では、そのような場合、飲んでいる薬やインスリンはどうすればいいのでしょうか？食欲がなく、食べていないからといって自己判断でインスリン注射や内服薬をやめてしまうと血糖値は急に上がって昏睡状態に陥ることもあるので注意してください。



身近に潜むシックデイ

症状が軽いからといって放置しないでください。
右図にあるような身近な症状でも油断禁物
注意してください。

風邪・インフルエンザ

嘔吐

下痢



《もしもシックデイになってしまったらどうすればいいのでしょうか?》

★基本のシックデイルール4か条★

温かく、安静にする
食事、水分、電解質を

基本です
水分1ℓが目安



早めに主治医と連絡をとる
病状チェックをこまめに

迷わずに
大切です

でも…どうしても病院に行けない状況の場合どうするのか?

インスリンの場合	飲み薬の場合
<p>ペンフィル R(速効型)・ヒューマログ、ノボラピッド等(超速効型)の場合 嘔吐などで食事が変動する場合、食後に食べた分だけインスリンを注射 ノボラピット 30mix・50mix、30R、ライゾデグ等(混合型)の場合 食事摂取不能の時は打たない 食事が半分以下ならインスリン量も半分 ペンフィル N、ランタス、ランタス XR、トリーバ等(持続型)の場合 食量に関係なく必ず打ってください 食事の時だけでなく食間等の時間にもこまめに血糖をチェックし、血糖値に応じて 高血糖の場合は速効型、超速攻型のインスリンを1~2単位位ずつ追加し変動を見ていってください</p>	<p>通常量の半分の食事が摂れるようならば、通常量の薬を服用してください。 半分以下になるようならば、DPP-4 阻害薬以外は服用しないでください。低血糖になる恐れがあります。 参考》DPP-4 阻害薬・・・ ジャヌビア、エクア、オングリザ、トラゼンタ、テネリア、スイニー、ネシーナ、ザファテック、マリゼブ、グラクティブ</p>

以上はあくまでも目安です。主治医と相談してインスリンの量や服用の仕方を決めておきましょう。どちらにしても、薬をやめたり、インスリンの量をコントロールしなければいけない状態になる前に受診をしてください。

注)2017.3 月時点のお薬です。